

## STAGE

3年前、県から県民参加型舞台の台本と演出を依頼された。八戸（三社大祭）と今別（荒馬祭り）を舞台にして欲しいとの条件。不登校気味の東京の高校生が、夏休みを利用して、父の実家の八戸と母の実家の今別を訪れ、祭りと周りの人々の交流の中で新たに一步を踏み出していくという筋立て。今別は津軽弁、八戸は南部弁。稽古は青森市。青森に南部弁を話せる俳優がいるか心配だったが、担当者が紹介してくれたのが、叔母役が中島美華、そして叔父役が八戸北高演劇部出身の音

喜多昭吾こと北魚昭次郎だった。中島との南部弁の掛け合いは圧巻だった。北魚は、小中野にあった実家の水産加工場の屋号で、彼なりの故郷愛だという。北魚は青森演劇鑑賞協会で中心的役割を果たしており、同時に、青森市の演劇界でなくてはならない存在となっている。

今回、彼のプロデュース集団鯨座「酒のヤ

マザキ三代目 東京がえりのお嬢さん」（第1回アオモリ演劇祭で11月末に上演）を引っ提げて八戸に乗り込んできた。脚本・演出は、独特の劇空間を醸し出し、根強いファンに支持されている劇団INTELVISTAの座付き作家沼津豊起。何より驚いたのは北魚のプロデュース力。よくもまあ、個性的な俳優を集めたものだ。ヤマザキ三代目の北魚は勿論だが、あどばーるーんの小野ますのぶ、INTELVISTAの沼田仁、70代間近の五所川原の下川原久恭、そして掴みどころがない不思議な雰囲気の東京がえりの大石彩也香。個人的には、同世代でもある、掴みどころいっぱいの下川原に魅せられた。

舞台は、何だかよく分からぬ婚活パーティー会場裏の事務所。前述の5人が入り乱れるも、淡々と展開される物語。所々に入る作者の悪戯に笑みがこぼれる。三代目とお嬢さんがうまくいくかと思わせながら、結局はお別れ。もう少し二人の絡みを観た

かったと思うのは贅沢か。初舞台という小野には芸人臭さではなく好感が持てた。こういう経験が芸の肥やしになると思うのだが。

僕の前席には、50年前、下川原と高校演劇をやっていたという某公民館々長が身を乗り出して観ていた。受付であった旧知の小中野の老婦人（ゴメンナサイ）曰く「昭吾は私の甥なのよ。オッホホホ」「え～！ そうなんですか」。青森と八戸の距離が一気に縮まった90分だった。

昨年後半のアオモリ演劇祭で青森市の演劇熱がグッと高まった。二つの市の演劇交流がますます盛んになることを願っている。

※3月2日スペースベンにて観劇

### 筆者近況

5月24日（金）18:30、25日（土）13:00&17:00、八戸市公会堂文化ホールで公演の筆者脚本・三浦哲郎演出『約定の城～九戸城異聞』の稽古真っ最中。全国統一を果たした秀吉に、最後に挑んだ戦国武将九戸政実が蘇る。



「酒のヤマザキ三代目 東京帰りのお嬢さん」八戸公演より

### あっちこっちシアターインフォ

文／柾谷伸夫（八戸市公民館々長）

### 個性的な俳優陣に釘付け



#### 鯨神楽発表会

必見、鯨神楽の若い力。

【日時】4月14日(日)

10:00～12:00 【場所】

鯨公民館 【料金】

無料 【問合せ】鯨神楽

連中 石戸昭治 ☎0178-33-6412

#### 八戸工業高等専門学校

#### 演劇部自主公演

【日時】4月27日(土)18:30開演

【場所】八戸市公会堂文化ホール

【料金】無料 【問合せ】八戸工業高

等専門学校 ☎0178-27-7260

### 演劇空間 スペースベン

#### ～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売400円  
大学生以下100円（当日100円増）

※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい  
八戸市柏崎1-11-8 TEL:0178-43-9876 FAX:050-3588-8350  
携帯:080-6025-0990 E-MAIL:owner@spaceben.com URL:http://spaceben.com/



### FANS

FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP

【FANS予定】第1313～1316回

【ライブ】大掃除だよ！全員集合！ 楽屋編

WHAT'S  
"FANS"?

多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

—一般前売400円／大学生以下100円（当日それぞれ100円増し）—  
公演情報配信ご希望の方は、owner@spaceben.com 寄りメーリーをお送りください。